

茨城工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	歴史と文化 I	
科目基礎情報							
科目番号	0013			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位II: 2		
開設学科	電子情報工学科(2016年度以前入学生)			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	教科書は用いない。必要に応じてプリントや史料を配布する。						
担当教員	並木 克央						
到達目標							
1. 歴史学がどのような学問であるかを理解する。 2. 日本史の各時代の在りようを理解する 3. 近代の前提となる江戸時代と近代への移行について理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	歴史学がどのような学問であるかを理解し、説明ができる。			歴史学がどのような学問で在るかを理解できる。		歴史学がどのような学問であるかが理解できない。	
評価項目2	日本史の各時代の在りようを理解し、説明ができる。			日本史の各時代の在りようを理解できる		日本史の各時代の在りようを理解できない。	
評価項目3	近代の前提となる江戸時代と近代への移行について理解し、説明ができる。			近代の前提となる江戸時代と近代への移行について理解できる。		近代の前提となる江戸時代と近代への移行について理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (E)(ト)							
教育方法等							
概要	我々はどのように歴史を認識しそこから何を学んでいるのか。歴史にはどのような見方があるのかなどについて概説する。次いで具体的な日本の歴史を取り上げながら、世界の歴史のなかでの日本史の普遍性と特殊性について触れる。また近代を知るために、その直前の時代である江戸時代に注目する。						
授業の進め方・方法	講義形式でおこなう。史料などを配布してそこから何が分かるのかについて考えながら進める。						
注意点	教科書を用いないのでノートを確実に取り、不明な用語などについては質問すると同時に個々に調べること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	歴史学とは何か		歴史が後世の人びとによって記されたものであることを理解する。		
		2週	どのように時代を捉えてきたか		多様な歴史の捉え方について理解する。		
		3週	時代の分け方		さまざまな時代区分について理解する。		
		4週	日本史の時代区分		日本固有の時代区分を理解する。		
		5週	歴史学と関連諸科学		歴史学の方法と関連する諸科学とその方法を理解する。		
		6週	歴史学と古文書学		歴史学に必要な古文書学について理解する。		
		7週	中間試験				
		8週	原始の日本列島		縄文時代 1 万年間を概観する。		
	2ndQ	9週	縄文から弥生へ		過渡期国家である邪馬台国の時代を理解する。		
		10週	古代王権		日本古代の特徴を王権との関係から理解する。		
		11週	外来制度・文化の摂取		外来の制度・文化の受容について理解する。		
		12週	日本の中世（概要）		日本中世の特徴を世界史との比較で理解する。		
		13週	日本の中世（宗教）		鎌倉仏教の成立と背景について理解する。		
		14週	日本の中世（一揆）		一揆、自由都市、惣などについて理解する。		
		15週	期末試験				
		16週	総復習				
後期	3rdQ	1週	日本の近世（時代区分）		江戸時代が近世として把握される意味を理解する。		
		2週	日本の近世（時代の原理）		江戸時代を成り立たせている原理について理解する。		
		3週	「武士」の世界		主従制や「武士道」とは何であったかを理解する。		
		4週	「百姓」の世界 1		共同体としての「村」について理解する。		
		5週	「百姓」の世界 2		農民達の暮らしや思考の在りようを理解する。		
		6週	「町人」の世界		職人や商人の暮らしと実態を理解する。		
		7週	中間試験				
	4thQ	8週	「宗教者」の世界		僧侶、修験、神官などの活動と庶民の受容について理解する。		
		9週	「被差別民」の世界		差別された人びとと差別の構造を理解する。		
		10週	外国人が見た江戸時代と人		幕末に日本を訪れた外国人が見た江戸時代人について理解する。		
		11週	明治維新とは何か		日本の近代化政策の概要を理解する。		
		12週	島崎藤村『夜明け前』の世界 ―近代の成立―		地方の知識人がみた明治維新の在りようを理解する。		
		13週	長塚節『土』の世界 ―近代の成立―		日本の近代化を支えた地主制の実態を理解する。		
		14週	新田次郎『ある町の高い煙突』 ―近代の成立―		近代化の弊害について理解する。		

		15週	期末試験	
		16週	総復習	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0